

## まちづくりに提言を

### ～第1回登別市市民自治推進委員会～

10月12日(木)、市民会館で『第1回登別市市民自治推進委員会』が開かれました。

この委員会は、市民と行政による協働のまちづくりを進めるため、市民・行政・議会のそれぞれの役割や責任、まちづくりへの市民参画の仕組みや権利などを明記した『登別市まちづくり基本条例』（昨年12月制定）の中にその設置がうたわれているものです。

委員会では、まちの問題点や課題について勉強会を行ったり、意見を出し合ったりして、市に提言を行うほか、市がまちづくりについての重要な施策・計画を策定するときに、企画・立案の段階などで、意見やアイデアを市に提言することになっています。

この日は、公募の市民70人のうち43人が出席。上野市長は、「さまざまな立場の方が参加しているので、違う角度からの意見や、意見が一つにまとまらないこともあるかと思いますが、できるだけ多くの市民の意見を取り入れて、市政を行っていききたい」とあいさつしました。

その後、委員の中から6人が運営委員に選ばれ、今後の市民自治推進委員会の運営方法などについて、検討を進めることになりました。

次回の市民自治推進委員会は、11月21日(火)に開かれる予定です。



## 音楽や料理を通して国際交流

### ～マチルデさんのデンマーク教室～

9月26日(火)・27日(水)・10月2日(月)の3日間、市民会館などで『マチルデさんのデンマーク教室』（登別デンマーク協会主催）が開かれ、延べ約100人がデンマークの暮らしや文化などを学びました。

この教室は、デンマークとの交流を目的に活動している同協会が、毎年、デンマークから研修生を受け入れ、市民との交流を行っているものです。

今年の研修生は、マチルデ・ラスムッセンさん（20歳・リング市在住）。9月9日(土)に来登し、ピアノやクラリネットなどでデンマークの国歌や民謡を演奏したり、デンマーク料理を一緒に作ったりするなど楽しく交流しました。

マチルデさんは、この教室のほか、市内の小・中学校などを訪問し、デンマークの文化を紹介。10月8日(日)に帰国の途につきました。



▲参加者とデンマーク料理を作るマチルデさん（左）

## 科学って面白い

### ～米村でんじろうのおもしろサイエンスショー～

10月9日(月)、市民会館で、テレビなどでおなじみの米村でんじろうさんによる『おもしろサイエンスショー』（文化・スポーツ振興財団主催）が開かれ、親子連れなど700人が科学の面白さや不思議を実感していました。

最初に、紙のブーメランを使った実験では、「ブーメランはプロペラです。右にねじれば右回り、左にねじれば左回り、高く飛ばすには羽根を上曲げればいいんですよ」と説明し、実際にブーメランを飛ばし実証していました。

続いて、空き箱に円形の穴を空けた空気砲の実験では、「空気砲の玉は輪の形をしています、輪の部分はうずまき状になっているんですよ」と説明。うずまきを見やすく行った実験では、会場から大きな歓声が上がっていました。



▲空気砲の実験